

- 問1 日本の古代国家の歩みを記した年表において、645年の大化の改新の開始から、701年の大宝律令の制定にいたるまでの期間に起きた出来事として、正しいものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 1. 平城京に都が移され、地方の産物を都へ運ぶための道路網が整備された。 | 2. 冠位十二階や十七条の憲法が制定され、才能のある人物が役人に登用された。 | 3. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れ、九州の防備を固めるために防人が置かれた。 | 4. 皇位継承をめぐる大規模な内乱である壬申の乱が起こり、大海人皇子が勝利した。 |
|--------------------------------------|--|--|--|
- 問2 7世紀後半、日本は唐や新羅による侵攻の脅威に備え、九州の大宰府周辺に「水城（みづき）」と呼ばれる大規模な土塁や、山城（朝鮮式山城）を築きました。これらの防御施設の築城にあたって、高度な土木技術を伝え、建設を指導した渡来人たちは、どこの国から来た人々が中心であったとされていますか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 新羅 | 2. 百濟 | 3. 高麗 | 4. 渤海 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問3 世界最古の木造建築とされる法隆寺や、そこに安置されている釈迦三尊像に代表される、7世紀前半の文化の特徴として最も適切な説明はどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|---|
| 1. 大陸や朝鮮半島の技術を取り入れた、日本で最初の本格的な仏教文化である。 | 2. 武士の台頭を背景に、力強さと写実性を重視した東大寺南大門などの文化である。 | 3. 唐の影響から離れ、日本の風土や生活に合わせた貴族中心の文化である。 | 4. 聖武天皇の時代に、仏教によって国家を守ろうとする鎮護国家の思想が強まった文化である。 |
|--|--|--------------------------------------|---|
- 問4 701年に大宝律令が制定された際、政治の中心地として機能していた都について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、この都は現在の奈良県橿原市付近に位置しており、日本で初めての本格的な都城（街並みが整備された都）として知られています。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 中国の都にならって整備された日本初の本格的な都城である藤原京 | 2. 孝徳天皇によって難波の地に置かれ、大化の改新の舞台となった難波京 | 3. 聖武天皇の時代に国際色豊かな文化が栄えた平城京 | 4. 桓武天皇によって遷都され、平安時代を通じて政治の中心となった平安京 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
- 問5 7世紀の朝鮮半島では、唐と新羅が結んで周辺諸国へ勢力を拡大していました。この際、唐・新羅の連合軍によって滅ぼされた国を復興させるため、倭（日本）が救援軍を派遣した国はどこですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-----------|-------|
| 1. 高句麗 | 2. 新羅 | 3. 伽耶（加羅） | 4. 百濟 |
|--------|-------|-----------|-------|
- 問6 白村江の戦いでの敗北を受け、九州北部には水城や大野城といった防御施設が次々と建設されました。これらの施設や海岸線の警備にあたるため、主に東国などの遠方から徴用され、九州へ派遣された兵士を何と呼びますか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 武士 | 2. 健児 | 3. 御家人 | 4. 防人 |
|-------|-------|--------|-------|
- 問7 663年に朝鮮半島で起こった白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、大和政権は九州の防衛を強化しました。このとき、博多湾から太宰府へ侵攻してくる敵を防ぐために築かれた、全長約1.2kmに及ぶ大規模な土塁と堀で構成された防御施設を何といいますか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 防人 | 2. 水城 | 3. 山城 | 4. 烽火 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問8 663年、日本（倭）は朝鮮半島の南西部に位置していた国を復興させるために大軍を派遣しましたが、中国大陸の唐と朝鮮半島の新羅による連合軍に大敗しました。この出来事を何といいますか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|---------|
| 1. 文永の役 | 2. 刀伊の入寇 | 3. 白村江の戦い | 4. 壬申の乱 |
|---------|----------|-----------|---------|
- 問9 白村江の戦いで大敗した倭（日本）の朝廷は、唐や新羅による日本への侵攻を強く警戒しました。九州北部や対馬などの防衛を強化するために配置された、東国出身の兵士と、敵の襲来をいち早く知らせるための合図を送る施設の組み合わせとして正しいものを選んでください。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-------------|----------|
| 1. 防人と烽火台 | 2. 健児と国府 | 3. 御家人と元寇防塁 | 4. 足軽と関所 |
|-----------|----------|-------------|----------|
- 問10 日本の古代の歴史において、645年に中臣鎌足らとともに蘇我氏を倒し、大化の改新と呼ばれる政治改革を断行した中大兄皇子が、のちに即位した天皇の名称として正しいものを次から選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天智天皇 | 2. 天武天皇 | 3. 聖武天皇 | 4. 推古天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 飛鳥時代に推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）が、役人の政治に対する心がまえを説くために制定した法は何ですか。「和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗となせ」という、人々の和を尊重し、争わないことを第一に掲げたものを選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 十七条の憲法 | 3. 五箇条の御誓文 | 4. 御成敗式目 |
|----------|-----------|------------|----------|
- 問12 大化の改新から平安京遷都までの約150年間における社会の動きについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|-------------------------------|---|
| 1. 小野妹子が遣隋使として中国に渡り、大陸の進んだ制度を積極的に取り入れた。 | 2. 聖徳太子が摂政となり、十七条の憲法を定めて役人の心得を示した。 | 3. 蘇我氏が大きな権力を持ち、政治の主導権を握り続けた。 | 4. 律令の制定や東大寺の大仏建立など、天皇を中心とした国づくりが進められた。 |
|---|------------------------------------|-------------------------------|---|
- 問13 聖徳太子（厩戸皇子）が冠位十二階を定めた背景には、どのような意図があったと考えられますか。当時の政治状況を踏まえた説明を選びなさい。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 特定の有力な氏族が政治を動かす仕組みから、天皇を中心とする役人による組織的な政治へ転換するため。 | 2. 武士の台頭に対抗するため、公家の中で才能ある若手を抜擢し、軍事力を強化するため。 | 3. 家柄の良い豪族をより厚遇することで、天皇に対する忠誠心を高め、国内の反乱を抑えるため。 | 4. 中国の唐から伝わった最新の法典に基づき、全国に一律の税制と身分制度を導入するため。 |
|---|---|--|--|
- 問14 7世紀半ばの朝鮮半島は、北部の高句麗、東部の新羅、南西部の百済が対立していました。白村江の戦いにおいて、日本が支援した国と、日本が戦った連合軍の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
| 1. 支援した国：百済、連合軍：高句麗・新羅 | 2. 支援した国：新羅、連合軍：唐・百済 | 3. 支援した国：高句麗、連合軍：隋・新羅 | 4. 支援した国：百済、連合軍：唐・新羅 |
|------------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 皇位継承をめぐる大規模な内乱である壬申の乱が起こり、大海人皇子が勝利した。	壬申の乱は672年に発生しました。これは大化の改新（645年）よりも後であり、本格的な律令である大宝律令（701年）が完成する前の時期に相当します。この乱を経て即位した天武天皇が「天皇」という称号や「日本」という国号を使い始めたとされています。白村江の戦いは663年ですが、壬申の乱はその後の出来事として重要です。
問2	答え 2 百済	663年の白村江の戦いで日本（倭）と百済の連合軍が唐・新羅の連合軍に敗北した後、日本は大陸からの報復的な侵攻を恐れて国防を強化しました。この際、日本に亡命してきた百済の人々が持つ高度な技術が、水城や大野城といった堅固な防御施設の築城に活用されました。
問3	答え 1 大陸や朝鮮半島の技術を取り入れた、日本で最初の本格的な仏教文化である。	飛鳥文化は、法隆寺の釈迦三尊像に見られるような北魏様式など、大陸の進んだ技術や芸術様式を取り入れた点に特徴がある。法隆寺の木造建築も、当時の大陸の建築技術を土台に造営されている。
問4	答え 1 中国の都にならって整備された日本初の本格的な都城である藤原京	藤原京は、694年から710年まで都として機能した場所です。701年の大宝律令制定時の都であり、それまでの宮殿中心の形態から、中国（唐）の都制を参考にした大規模な市街地を持つ「都城」へと進化した最初の例です。位置は現在の奈良県橿原市にあたります。
問5	答え 4 百済	飛鳥時代、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を強め、660年に百済を滅ぼしました。日本（倭）は古くから交流のあった百済の遺民から救援を求められ、中大兄皇子らの指揮のもと、百済復興のために大軍を送りました。しかし、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗し、百済復興の計画は失敗に終わりました。
問6	答え 4 防人	唐や新羅の侵攻に備えるため、当時の政府は全国から兵士を徴用しましたが、特に九州北部の警備には「防人（さきもり）」が配置されました。彼らの多くは東国の農民から選ばれ、住み慣れた故郷を離れて厳しい任務に就きました。その苦しみや家族への思いを詠んだ歌は『万葉集』に「防人歌」として数多く収められています。
問7	答え 2 水城	白村江の戦いで敗北した大和政権は、唐や新羅による日本本土への侵攻を強く警戒しました。特に九州の政治・外交の拠点であった太宰府を守るため、その北側に巨大な堤防のような土塁を築き、さらに外側に水を蓄えた堀を設けることで、博多湾方面からの敵の進入を阻止しようとした。この施設は「水城」と呼ばれ、現在の福岡県にその遺構が残っています。
問8	答え 3 白村江の戦い	660年に唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた百済を復興させるため、日本は大規模な援軍を送りましたが、朝鮮半島の白村江（はくすきのえ）で大敗を喫しました。この敗戦の結果、日本は朝鮮半島における影響力を失い、国内の守りを固める政策へと転換することになります。
問9	答え 1 防人と烽火台	敗戦後、唐・新羅連合軍の日本上陸を恐れた天智天皇は、北九州の沿岸部に「防人（さきもり）」を配置し、敵の発見を都に伝えるための「烽火（とぶひ／烽火台）」を設置しました。あわせて、大宰府を守るための水城（みずき）や朝鮮式山城を築いて防御を固めました。元寇防塁は鎌倉時代の元に対する防衛施設です。
問10	答え 1 天智天皇	645年の乙巳の変から始まる大化の改新を主導した中大兄皇子は、のちに現在の滋賀県にあたる近江大津宮へと都を移して即位しました。これが天智天皇であり、日本最古の戸籍とされる「庚午年籍」の作成など、律令国家の建設に向けた基礎固めを行いました。
問11	答え 2 十七条の憲法	聖徳太子は、冠位十二階の制定とともに「十七条の憲法」を定め、天皇を中心とする中央集権国家の基盤を整えようとした。この法は現在の憲法とは異なり、役人が守るべき道徳的な訓戒としての性格が強く、特に第一条で説かれた「和」の精神は、豪族間の争いを鎮める意図がありました。
問12	答え 4 律令の制定や東大寺の大仏建立など、天皇を中心とした国づくりが進められた。	大化の改新で蘇我氏が倒された後、日本は本格的な法治国家を目指して701年に大宝律令を制定しました。また、752年には聖武天皇の発願により東大寺の大仏が完成するなど、仏教の力を借りて国を安定させようとする天皇中心の政治が展開されました。聖徳太子の活動や遣隋使、蘇我氏の全盛期はいずれも大化の改新以前の事です。
問13	答え 1 特定の有力な氏族が政治を動かす仕組みから、天皇を中心とする役人による組織的な政治へ転換するため。	当時の政治は、蘇我氏などの有力な豪族が強大な権力を持っていました。聖徳太子や推古天皇は、こうした特定の家柄に依存する政治から脱却し、天皇が直接任命した「役人」による効率的な統治を目指しました。冠位十二階は、個人の能力を基準に役人を組織に組み込むことで、天皇の権威を高め、大陸の先進的な国家体制に近づけようとする目的がありました。
問14	答え 4 支援した国：百済、連合軍：唐・新羅	当時の東アジアでは、中国大陆を統一した唐が勢力を拡大しており、朝鮮半島では新羅が唐と結んでいました。日本は古くから交流のあった百済の復興を助けるために参戦しましたが、唐と新羅の強力な連合軍に敗れました。